

## 「教育コミュニティづくり」の推進について

### <教育コミュニティづくりとは>

教育や子育てに関する課題を学校、家庭、地域の団体・グループ等が共有し、課題解決に向けた協働の取組を通じて、新たな人のつながりをつくり出していく仕組みや運動。

### <教育コミュニティづくりの3つの活動>

#### 学校支援活動

教育活動の充実を図るために、学校の求めと地域の力をマッチングして様々な活動（授業等の学習支援、部活動の支援、図書の整理や花壇の整備、学校行事の運営支援、登下校時の安全見守り等）を行う。

※府内全中学校区（政令市除く）で実施

#### おおさか元気広場（放課後子ども教室）

放課後や週末等に、子どもの安全で安心な活動場所を確保し、地域の参画・協力を得て、子どもの体験・交流活動及び学習活動等の機会を提供する。

※府内全小学校区（政令市・中核市除く）で実施

#### 家庭教育支援

対話や交流をとおして、親と子の関係や子育ての大切さについて学ぶ「親学習」の機会の提供。また、地域人材で構成される家庭教育支援チームが、子育てに課題を抱え地域から孤立しがちな家庭等を訪問し相談対応する「訪問型家庭教育支援」の実施。

### <背景>

国の第3期教育振興基本計画では、「人生100年時代を見据えた生涯学習の推進」を目標としており、全ての人々が地域において世代を超えて交流しながら各々の生きがいを創る社会を目指している。一方、AIの進歩などにより、現役世代の多様な働き方が可能な社会となることが見込まれる。地域住民の「生きがいづくり」として教育コミュニティづくりの活動への参加が増加すれば地域の教育力が向上し、地域の振興にもつながると考えられる。

### <本日の協議題>

これまでも「地域人材の高齢化・固定化による人材不足への対応」について検討してきたが、参加する側の視点に立ち、地域活動を「生きがいづくり」につなげるための課題と対応策について広く意見をいただきたい。